

宮川内ダム

宮川内谷川は、徳島県阿波市の阿讃県境に源を発し阿波市、上板町、板野町を東に貫流して、途中で支川の高尾谷川、泉谷川、大山谷川と合流し旧吉野川に注ぐ流路延長19.0km、流域面積73.6km² の一級河川です。

宮川内ダムは、吉野川水系宮川内谷川の徳島県阿波市土成町宮川内地先における多目的ダムで、宮川内谷川総合開発事業の一環をなし、洪水調節、既得取水の安定化等を目的とするもので、昭和35年度から建設が始まり、昭和39年度に完成しました。

宮川内ダムの高さは36m、総貯水容量135万 m³となっています。



宮川内ダム

目 的	洪水調節、流水の正常な機能の維持
ダム形式	重力式コンクリートダム
集水面積	23.14km ²
湛水面積	0.127km ²
ダ ム 高	36m
総貯水容量	135万 m ³
管 理 者	徳島県